

～女子スプリンターの未来を背負う～

女子リレー新プロジェクト説明会

東京2020オリンピック出場への道を切り開く

【趣旨】

陸上競技に関わるすべての人たち、そして国民に夢や希望を与えるために、本連盟強化委員会は東京2020オリンピックの目標値を、メダル・入賞数と同時にできる限り多くの選手をその舞台に立たせることに設定いたしました。特に、現代社会およびオリンピック理念の情勢を鑑みると、女子選手の活躍が切望される一方で、我が国の現状では参加の見込みすら厳しい状況にあります。このような状況の中、女子強化の突破口を開くために、日本陸上界および国民にとって象徴的・魅力的な種目であること、目標到達の可能性についてのエビデンスを有していること、さらには達成のインパクトおよびその後の効力が大きいこと、を期待できる種目として女子リレー種目にその命運を託す選択をいたしました。本プロジェクトは、女子リレー種目の東京2020オリンピック出場権獲得を最大目標とする特別強化を推進するものです。

女子スプリントに関わるすべての方々の思いと英知を結集し、チームジャパンとしてこれまでになく強く結束していかなければ、女子スプリンターたちの未来を切り開いていくことはできません。そこで今回は、競技者およびコーチ（ならびに関係者）の皆様の本プロジェクトに関する理解を深めていただき、「協心戮力」の礎を築くために説明会を企画いたしました。

1. プロジェクトメンバー

- ・プロジェクトリーダー
山崎 一彦（強化委員会 T&F ディレクター）
 - ・アドバイザー（リレー戦略）
荻部 俊二（強化委員会強化・情報戦略部（リレー戦略担当））
 - ・ヘッドコーチ（両リレー統括）
瀧谷 賢司（強化委員会女子リレーオリンピック強化コーチ）
 - ・強化スタッフ
- <4×100m リレー>
- 信岡 沙希重（強化委員会強化育成部委員）
 - 太田 涼（強化委員会女子リレーコーディネーター 兼務）
- <4×400m リレー>
- 吉田 真希子（強化委員会強化育成部委員）
 - 前村 公彦（強化委員会女子ハードルオリンピック強化コーチ 兼務）
 - ・コーディネーター
太田 涼（強化委員会女子リレーコーディネーター）
遠藤 俊典（強化委員会 T&F コーディネーター）
 - ・科学スタッフ
渡辺 圭佑（科学委員会 委員）

2. 強化理念

日本女子リレーチームの活躍は、日本女子短距離の競技力の水準を向上させ、連続的・継続的な競技者の強化育成、ならびに国際的な視野を有する競技者の育成に寄与する。

3. 活動理念・キーワード

「再構築・Rebuilding」

ゼロ構築、すなわち、積み重ねてきた事があってもそれらを一旦全て捨て去り、ゼロからやり直す方が、継続努力よりも最終的には早く目標達成することもある。この論拠にヒントを得て、時間的資源に制限がある中で、目標を達成するために必要な諸要因の再構築と精選化を目指す。

4. 方針・戦略

- ・リレー種目での東京オリンピック出場権獲得に対するモチベーションとマインドセットを再構築
- ・リレー能力（リレーに特化した技能、リレーでの実力発揮）の再構築
- ・チームスタッフの配置と役割の再構築
- ・リレーの日本代表選手としての誇りとつながりを再構築
- ・タレントプール（若い選手と実力ある選手）の競争意識を再刺激
- ・若いタレントの強化育成（システム）を再構築
- ・医科学を最大限活用した強化・コーチングスタイルの再構築
- ・代表コーチと専任コーチとをつなぐコミュニティの再構築

5. 到達目標

- 1) リレーチームジャパンを再構築し、女子 4×100m リレーおよび 4×400m リレーの 2020 東京オリンピック出場権を獲得する。
- 2) 横浜 2019 世界リレーにおいて、ドーハ 2019 世界選手権出場権獲得と各リレー種目の日本記録を更新する。
- 3) リレー強化と個人強化の相互補完的関係を駆使した女子短距離競技者の育成システムを再構築し、ポスト 2020 における女子リレーの強化ならびに女子スプリンターの強化育成を持続可能なものにする。

6. 本プロジェクトにより期待される成果・効果

- 1) 重要国際大会にむけて十分な準備期間を設けたリレー強化、チームビルディング
- 2) リレー候補者選抜方法の客観化・明確化・透明化
- 3) リレーにおける競技力の適性診断
- 4) 女子リレーの強化に対する選手・コーチ・医科学サポートの一体化
- 5) 連続的・継続的に高い競技力を示す女子短距離競技者および国際的な視野を有する競技者の輩出

以上